

令和5年度 琴浦公民館 第2回 人権教育講演会

(兼 生涯学集「ことうら塾」第6回講座)

令和5年 9月30日(土) 14:00 ~ 15:30

演題：「朗読」の楽しさと岡山の魅力!

講師：おかやまアナウンス・ラボ株式会社 代表取締役
森田 恵子 先生

参加者の感想

- 朗読を初めて聴きました。情景が浮かび、心温かく残りました。高齢者になって、毎日を変化なく暮らしているのが幸せかと思っていましたが、何か一つ興味をもち、小さな探求をしていくことが、より生き生きと生活できるのだと、今日は自分が変化しました。
- 目を閉じて朗読を聴くことで、絵が感じられることを改めて感じました。毎日、楽しいこと探しの生活ですが、ライフワークとしてもっと深く知ること・感じる大切であると思い、今の自分を恥ずかしく思いました。70歳にして学べる楽しさを知りました。ありがとうございました。
- 岡山の魅力を知らないことが多いのに気付きました。これからの楽しみ方のきっかけづくりになりました。ありがとうございました。



令和5年度 唐琴公民館 第2回 人権教育講演会

令和5年 10月22日(日) 10:00 ~ 11:30

演題：被災地を見て学んだこと
～東日本大震災の
ボランティア活動に参加して～

講師：元倉敷市立中学校 教諭
尾崎 明弘 先生

先生の東日本大震災のボランティア活動に参加した実体験をもとに、災害の恐ろしさや災害後の生活、災害への備えについて詳しくお話をしていただきました。ボランティア活動を通して、直面した人権問題のお話をお聴きして、改めて、人権問題について正しい理解を深め、解決へ向けて積極的に取り組むことの大切さを感じました。また、震災に対する一言一言に先生の強い思いも感じました。

参加者の感想

- 全く経験もなく、遠いことのように思っていた災害のことが分かり、考えさせられました。今後は、いろいろと気を付けたいと思いました。
- 尾崎先生の体験されたお話で、震災の怖さとともに先生の言葉に重みを感じました。逃げることの大切さを改めて感じました。



人権
だより
第51号

ことうら



発行
令和6年2月発行
琴浦中学校区
人権学習推進委員会
事務局
琴浦公民館
倉敷市児島下の町9-2-27
TEL・FAX 086-473-0080

中学校区テーマ 人権をたいせつにしあう明るい地域—琴浦—

重点課題 元気で明るい子どもを育てよう

琴浦中学校区人権学習推進委員会 人権ポスター展

9月12日から唐琴公民館をスタートし、各小中学校・琴浦公民館と順次1月23日まで展示しました。

代表作品



琴南小1年 池上 桜奈



琴東小1年 石橋 璃人



琴西小2年 篠原 緋里



琴浦中2年 山川 祐加



琴東小4年 村上 詩芭



琴西小6年 梅野 杏



琴浦中3年 仕田原 羽菜



琴南小6年 岩津 瑛多

リフレーミングでよさを見つけ ～琴東Gs～



琴浦東小学校長
小野明子

琴浦東小学校では本年度児童会が中心になって、大切にしたい5つのポイントを「琴東Gs」という目標にまとめました。「自分を大切に、友達を大切に、物を大切に、よりよい学びを、よりよい生活を」を合言葉に、学校生活の中で児童と教師が意識しながら活動するようにしています。

「なかよし週間（校内人権週間）」には全校で「リフレーミング」に取り組みました。「リフレーミング」とは「物事の捉え方を変え、別の枠組みで



捉え直すこと」を指し、「短所・欠点」として見えていることも、捉え方や視点を変えて考えることで「長所・利点」として捉えることができるという思考方法です。

2年生のAさんは自分のことを「よくしゃべる」と捉えていましたが、Bさんから「明るく元気で楽しい」とリフレーミングしてもらい、ニコニコ笑顔になっていました。児童は、自分が「短所」と思っているところを友達から「長所」に捉え直してもらった活動を通して自分のよさに気付くことができ、とてもうれしそうでした。振り返りでも、たくさんの児童から「自分が気付かなかったよさを友達から伝えられてうれしかった。」「視点を変えて見ることで、自分や友達のよさを再確認できた。」などの感想を聞くことができました。

これからもリフレーミングの視点や琴東Gsを生かして、自分も友達もかけがえのない存在であり、大切にしようとする気持ちを育てていきたいと思っています。



園のようす（田の口認定こども園）

やさしさいっぱい

今年度、琴浦東幼稚園と田の口保育園が一緒になり、新しく田の口認定こども園となりました。新しいお友達と会えるのをドキドキワクワクしながら、楽しみにしていた子どもたち。ちょっぴり不安もありましたが、一緒に遊びを楽しんだり、お互いの園歌も歌いあったりしながら、今までの園での育ちも大切にしています。

4・5歳児が中心の仲良しタイムでは、季節の歌を歌ったり、好きなリズムを楽しんだりして、クラスに関係なく声を掛け合い、異年齢でのかかわりが



えがおいっぱい

自然と生まれています。どのクラスの遊びも見渡せる園庭は、小さいクラスから大きいクラスまで笑顔あふれる場となっています。

遊びも、笑顔もみんな一緒、みんな仲良しの、田の口認定こども園でありたいと思います。



園のようす（琴浦西認定こども園）

こども園って楽しいね

～子どもと保育教諭の笑顔あふれる保育とは～

コロナもようやく落ち着き、日々の保育の中において、行事や保育の見直しなど様々なことがありました。しかし、そんな状況の中でも子ども達が園生活を楽しいと感じ、笑顔で過ごすために、こども園では、子ども達ひとりひとりに丁寧に目を向け、小さなつぶやきに耳を傾けたり受け止めたりしながら保育をしていきました。

今年度7月に市内公立園の保育士・保育教諭が集まり「人権研修会」を行いました。その中で「笑顔あふれる保育とはなんだろう」と職員で話し合う時間を持つことができました。



た。その中で、子どもとの関わり方や信頼関係の築き方などを改めて考えながら職員同士の連携の大切さも知るよい機会となりました。

子ども達の「見て」「できた」をただ共感するのではなく、その子の気付いたこと、よさを周りの子ども達にも伝え広げていくことが大切です。そして、子ども達の笑顔につながるためにも、子どもの姿や思いを捉え常に保育を見直ししながら、子ども達の人権についてこれからも考えていきたいと思います。

